

## 「全鍍連」 2019年7月号 いきいき地域

愛知県鍍金工業組合 笠間 敦嗣 (二葉産業(株) 代表取締役社長)

### 「100年に一度の大変革」



「愛知県」トヨタ自動車のお膝元で関連企業のみならず、工作機械、航空宇宙、電気機械等、多岐にわたる製造業の集積地で工業出荷額は約 47 兆円にものぼり 1977 年に全国 1 位になって以降、2 位との差も広がり続け、近年では約 2.5 倍となりました。工業に偏りすぎなのか、愛知県として「農業も盛んです、3,200 億！」といっても、工業の 100 分の 1 以下で思わず失笑。もっと笑えないのが、主要都市で最も魅力の無い都市ランキング、ぶっちぎりの最下位。そのおかげか、私は他府県に行くとその土地ごとの魅力にいつも感動しております（笑）

派手さはなくとも、魅力は無くとも、まじめにコツコツ誠実に「ものづくり」を得手としてきた愛知県民にやってきた「100年に一度の大変革時代」は果たして乗り越えられる課題なのか。いつも忙しく絶好調？がどこまで続くか。CASE「コネクテッド・自動化・シェアリング・電動化」と MaaS「移動のサービス化」で大変革は確実に目前まできています。トヨタ自動車は「自動車をつくる会社」から「モビリティカンパニー」になると宣言しています。最近の新しいトヨタ自動車のパートナーは IT 企業で製造業ではありません。移動に関するサービスを提供する会社になることが今後のトヨタの進む道になるようです。

さて最近、私は出張でアメリカに行く機会がありましたが、相変わらずの大雑把な感じと、仕事をしているのか遊んでいるかわからないようなスタイルで、スパッと休んでどっかへ行って、それでいて一人あたりの GDP は日本の倍近く、ビックマックセットは約 1,200 円で、思わず日本人の緻密な努力は報われないのか？と心が折れそうでした。Uber を利用してみれば素晴らしく便利ではありますが、同時にタクシーはほぼ見かけなくなり、産業の入れ替わりの早さとビジネスを創造する力を強烈に感じ、変化への対応をより機敏する必要性を感じざるを得ませんでした。

アメリカは GAFA を中心に既に大変革を成し遂げ、時代を創り、トヨタ自動車も生きるか死ぬかの瀬戸際と言って、大きく変化をしています。ガラケーからスマホへあつという間に変わりましたが、工業出荷額ダントツ No.1 は逆に危険信号がもれません。愛知県の産業構造変化に合わせ、私たちも 100 年に一度の変化が求められているように思います。